

Memories of Edward Said  
OUT OF PLACE

サイドの遺志と記憶を辿る、佐藤真監督、渾身のロードムービー  
**エドワード・サイド OUT OF PLACE**

35mm/カラー/2時間17分/2005年シグロ作品/支援 文化庁  
監督 佐藤 真/製作 山上徹二郎/協力プロデューサー ジャン・ユンカーマン  
出演:マリアム・サイド/ダニエル・バレンボイム/ノーム・チョムスキーほか

「私の人生を表現するなら、

出発と帰還の連続です。

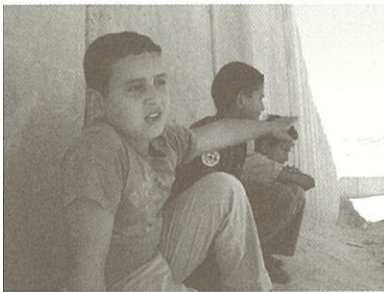
出発は常に不安で、

帰りはいつも不確かなのです。」

エドワード・サイドは著者 (Power, Politics, and culture, 43)  
From Power, Politics and culture, 2001







2003年9月、パレスチナ出身の世界的知識人、エドワード・サイードが亡くなった。世界の核心に迫ろうとしていたサイードの、精神の在り処を求めて映画の旅が始まった。シリア、レバノン、エジプト、イスラエル、パレスチナそしてニューヨーク…。最後に辿り着いたのはOUT OF PLACEという地平だった。

■監督の言葉

パレスチナという巨大な問題の底知れぬ奥深さに恐れおののきながら、サイードのテキストだけを指針に中東諸国を旅して廻った。永遠に失われたパレスチナでのサイード一家の痕跡を描いた自伝「OUT OF PLACE」を、将来に向けた共生の夢物語として読みかえられないかと願って、旅を続け、多くの人々と出会った。

故郷を奪われたパレスチナ難民も、様々なディアスポラ体験の末にイスラエルに辿りついたユダヤ人も、境界線上に生きていることには変わりがない。その不安定で揺れ続けるアイデンティティを大らかに受けとめようとする人々を通してなら、そこにサイードが終生希望を託そうとした未来が見えると思った。「OUT OF PLACE」であることは、あらゆる呪縛と制度を乗り越える未来への指針なのかもしれない。

佐藤真



書籍「エドワード・サイード OUT OF PLACE」

みすず書房、4月下旬刊  
採録シナリオ全編、佐藤監督による製作ノートに加え、チョムスキー、パレンボイムほか本編でカットされた関係者のインタビューを多数収録  
四六判/256頁/2100円(税込)  
TEL:03-3814-0131(みすず書房)

出演：マリyam・サイード/ワディ・サイード/ナジュラ・サイード/ジーン・サイード・マクディスイ(以上、サイード家親族)/ダニエル・パレンボイム(指揮者・ピアニスト)/ノーム・チョムスキー(言語学・政治哲学)/アズミ・ビシャラ(パレスチナ系イスラエル国会議員)/ミシェル・ワルクスキー(人権活動家)/イリヤース・フリー(小説家)/イラン・パベ(ハイファ大 パレスチナ現代政治史)/ギル・アニジャー(コロンビア大 中東言語文化学)/ゴリ・ピスワナサン(コロンビア大 比較文学)ほか

スタッフ：企画・製作 山上徹二郎/協力プロデューサー ジャン・ユンカーマン/監督 佐藤真/撮影 大津幸四郎 栗原朗 佐藤真/整音 弦巻裕 /編集 秦岳志/翻訳・監修 中野真紀子/助監督 ナジブ・エルカシュ 屋山久美子 石田優子/プロダクションマネージャー 佐々木正明/ナレーション 宝亀克寿/テキスト朗読 山川建夫/協力 白杵陽 鶴飼哲 錦田愛子ほか/音楽：ダニエル・パレンボイム演奏 シューベルト 即興曲 変イ長調 作品142-2(D.935, No.2) デュオ・エスベラント 「Strings of Hope (パレスチナ・イスラエルの若手音楽家による共演集)」より

■推薦の言葉

映画はエドワードの人生を思索的に探りながら、ゆっくりとエドワードが棲んだ世界に観客をいざないます。エドワードは出てこないのに、映画の隅々までエドワードの存在に満ちあふれている…。そのようなしなやかな通じて、彼の思想や、彼の国および民の物語が、見事に浮かび上がっています。

マリyam・サイード

1935年イギリス委任統治下のエルサレムに生まれる。  
父の事業のためにカイロで育ち、15歳で渡米。後にコロンビア大学英文学教授。比較文学の世界で重要な著作を数多く発表する一方、文学批評家としても世界的に知られる。また、パレスチナ問題の代表的な論客として注目を集め、右傾化するアメリカの言論界において、妨害・迫害にもかかわらず勇気ある発言を続けた。  
2003年9月25日白血病に倒れる。享年67。  
主著『オリエンタリズム』『パレスチナとは何か』『文化と帝国主義』『知識人とは何か』『遠い場所の記憶-自伝』(OUT OF PLACE:A Memoir)『パレンボイム/サイード 音楽と社会』など。



エドワード・サイード プロフィール

5月1日[月] 上映会&シンポジウム 京都芸術劇場<春秋座>にて

日時 | 2006年5月1日(月)  
上映① 13:00~15:20 上映② 18:30~20:50

会場 | 京都芸術劇場<春秋座> (京都造形芸術大学内)

料金 | 一般 1,500円 / 学生&ユース(25歳以下) 1,000円  
※ 全自由席 ※ 学生&ユース券は学生証か年齢のわかるものをご提示下さい。  
※ 上映1回につき1チケット、シンポジウムはいずれかの上映会の半券提示で入場可

チケット取扱 | 京都芸術劇場チケットセンター  
(窓口販売・電話予約) TEL 075-791-8240 [平日10~17時]  
(メール予約) ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp

【関連シンポジウム】 16:00~18:00  
「エドワード・サイードの記憶と痕跡をめぐって」

[パネリスト]  
マリyam・サイード (エドワード・サイード夫人)  
鶴飼哲 (一橋大学大学院 言語社会研究科教授/フランス思想・文学)  
佐藤真 (本学 映像・舞台芸術学科教授/映画監督)  
八角聡仁 (本学 映像・舞台芸術学科教授/批評家) [司会]

近日、京都シネマ (TEL075-353-4723)にて上映決定

